

年度スローガン

～ 新しい友だちつくろう～

# 広報はばたき

第31号

新発田青少年健全育成市民会議

## 市民大会ーわたしの主張ー新発田市大会が開催されました

7月27日(土) 新発田市生涯学習センター

来賓をはじめ、関係団体・約300人の市民の方々参加のもと開催されました。

### 功 労 者 表 彰

市民会議の発展のために特に功績のあった会員を表彰するもので 今年度は4名の方が受賞されました



小川様 酒井様 諏方様 永松様  
(代理者) (代理者)

○受賞者

- ・小川 知之様 「とようらヒューマンネットワーク 会長」
- ・酒井 鉄男様 「前 加治川地区青少年健全育成協議会 会長」
- ・諏方 美智様 「前 新発田市少年補導委員会 副会長」
- ・永松 健治様 「ボーイスカウト新発田第1団カブスカウト隊 隊長」

### 市民会議活動内容の紹介

新発田青少年健全育成市民会議 高橋副会長より、市民会議の目的・活動内容・運営組織及び構成団体について、市民の皆様により一層ご理解いただけるよう紹介いたしました。



### 記念アトラクション



### 新発田高等学校「ブラスバンド部」の皆さんに演奏いただきました

新発田高等学校ブラスバンド部は県内唯一の高校ジャズバンドとして活動し、様々なイベントやジャズコンサートで演奏を披露されています。

スイングジャズの名曲、迫力あるサウンド、観客を魅了するステージパフォーマンスと、会場は大いに盛り上がりました。

いじめを断ち切ることは

できるのか

本丸中 三年 船木 朋佳

いじめは今と昔でやり方は変わっても、どこかで起こり続けています。昔から集団の中にはいじめがあり、更に現代は情報化社会、ネット社会の影響で、いじめはとも複雑なものになっています。一人ひとりが意識しない限りいじめはなくなるでしょう。だから私は「やめなよ。」の一言を言える勇気を持った人間になりたいです。いつか、いじめがなくなることを信じて。

「言葉」の大切さ

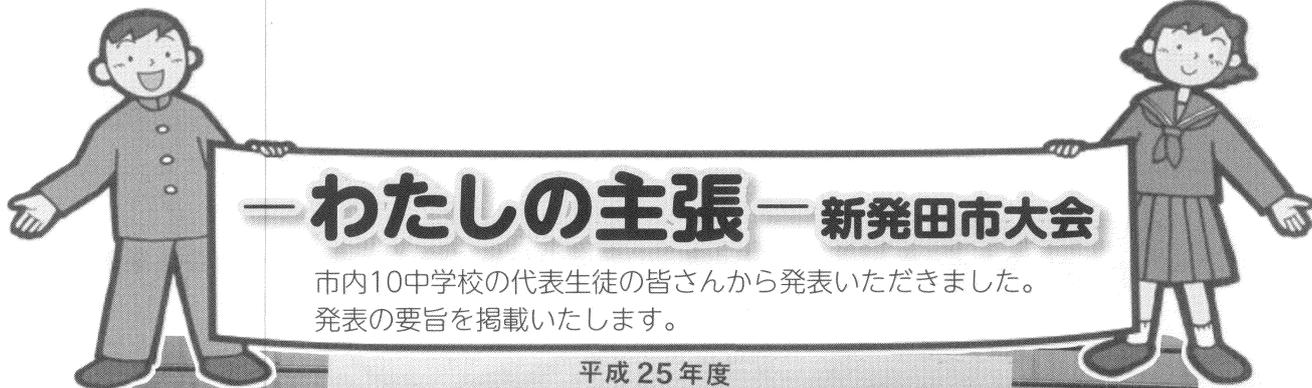
第一中 二年 齋藤 美空

三月に亡くなった耳の不自由な曾祖母に、伝えたい言葉を十分に伝えられなかった経験から、私は、声で伝えること、伝えられることの幸せを強く感じた。

また、「死ぬ。」という友達

葉が元で仲たがいがしたこと、言葉に責任をもつことの大切さを感じ、互いに成長できた。

みんなが、言葉を凶器にせず、伝えたいことを自分の声や言葉でしっかりと伝えたいものだ。



# わたしの主張 新発田市大会

市内10中学校の代表生徒の皆さんから発表いただきました。  
発表の要旨を掲載いたします。



発表者と審査委員の皆様

自分の意志を伝えるということ

猿橋中 三年 小杉 実輝

小さい頃から他人に合わせてばかりで、自分の意見を言わずにいた。しかし、進路の授業で、ある言葉に出会い、自分の意志を伝えることにした。そして、自分の思いを伝えることが、こんなにも心地よいことを初めて知った。これからは、自分の道を自分で選び、自分自身で歩み、自分だけのゴールを作れるよう努力していこうと思う。

オンリーワンって何？

キラキラしてるものだけが個性か？

東中 三年 風間 健汰

世の中には個性を表現できるものはたくさんあるが、流行ものには、のる必要はなく、自分の好きなことをすればいい。しかし、今、キラキラネームという表現しすぎと思えるものもある。「光宙」<sup>ひかりちゆう</sup>の様に個性豊かで奇抜な名前は決してふさわしいといえない。僕の考える個性とは、「誰しもがもともと持っている、あるがままの自然体。」それが個性というものではないのだろうか。

## あいさつの大切さ

川東中 三年 菅 真由

私は、あいさつはとても大切だ  
と思う。それを実感したのは職場  
体験だ。あいさつは、人との関係  
を良くしたり、絆を深めたりする  
ことができる体験から学んだ。

だから私は、誰にでも、自分か  
ら、大きな声でさわやかにあいさ  
つをしていきたい。そして、そん  
なあいさつをする人の輪が広がっ  
ていけばいいと思う。

## 自分の中の大切なもの

七葉中 二年 阿部 風月

テニスのペアの一言から、自分  
達が試合中に自然に笑顔でいるこ  
とに気付かされ、そのことをきつ  
かけに笑顔の大切さについて考え  
た。笑顔には、人を認め合い、思  
いやりを感じさせ、人と人をつ  
なぐ力が込められている。自分も  
今まで笑顔に支えられてきたの  
で、皆さんにも笑顔の力を感じて  
ほしい。これからも、楽しい時も  
悲しい時も笑顔を励みにしてい  
きたい。

## 「挑戦」から

佐々木中 三年 樋口 元氣

三年生で高跳びを始めるのは大  
きな決断だった。苦勞することも  
あったが、今では高跳びに挑戦し  
て、本当によかったと思ってい  
る。挑戦は助走のようなものだ。  
高いバーを跳び越えて成長するに  
は、挑戦というものを欠かすこと  
はできない。部活動を終えた今、  
僕は更なる高みを目指して挑戦を  
続け、自分の知らない力をもっと  
もっと伸ばしていきたい。

## 部活動を通して感じたこと

豊浦中 三年 杉田 実央

部活動で人間関係の難しさに悩  
んだ私。落ち込んだりしたけど、  
周りからの支えもあり、自分のや  
れることを精一杯やるしかない  
と決意し、日々努力した。その結果、  
大会では負けたが、悩んだ分、み  
んなとの絆を深めることができた  
と思う。前を向いて努力すれば、  
必ず分かってくれる人がいる。私  
は頑張っている人には応援し、自  
分も負けずに頑張っていきたいと  
思う。

## 歩み出すために

紫雲寺中 三年 大平 侑里

今までの私は失敗をおそれ、自  
主的に活動せず、役割を与えられ  
た時しか活動しないことが多かつ  
た。しかし、自分なりに成長でき  
たと思えたのは、何かに全力で取  
り組んだ後だ。これからは、最初  
から毛嫌いするのではなく、「全  
力で頑張れば、嫌なことばかり  
じゃない。」と考え、思い切って  
自分から前に踏み出したい。私は、  
自分の足で歩みを進めていこう。

## 大会への思い

加治川中 三年 相馬 瑠蘭

三年間陸上部を続けて、いろい  
ろな事を感じ、学んだ。中でも感  
謝の気持ちはとても大きい。大会  
に出ることは当たり前のように  
思っていたが、「大会を行うため  
には多くの人が関わり、その中で  
私は大会に参加させてもらってい  
る。」と考えが変わった。何をす  
るにも必ず支えてくれている人が  
いることと、その人達への感謝の  
気持ちを忘れないようにしてい  
たい。

## わたしの主張

「新発田市大会」講評

審査委員長

加治川中学校長 長谷川 寛

今年度から各校の代表者が集ま  
り、本大会にて、優秀賞五名、奨  
励賞五名を審査委員会で決め、優  
秀賞五名が新発田市の代表として  
三市北蒲原地区大会へ出場する形  
となりました。

各校代表者の発表は、自他のせ  
つなさや痛みを受け止め、どうす  
れば乗り越えていけるのかを真剣  
に考え、自分なりの答えを導き出  
し、こうしていくことが必要だ、  
大切なんだという主張がなされて  
いて、大変良かったと思います。  
各校の代表者の主張を聞き合  
い、学び合えたことを今後の生活  
に活かしてほしいと思います。

### 《三市北蒲原地区大会結果》

#### ○最優秀賞

第一中 二年 齋藤 美空さん

#### ○優秀賞

紫雲寺中 三年 大平 侑里さん

豊浦中 三年 杉田 実央さん

最優秀賞を受賞された 齋藤 美空さ  
んは、九月二十三日に開催された県大  
会に出場されました。



射的でGO!

児童センター行事  
**子どもまつり2013**  
 子ども達の笑顔がいっぱいの  
 楽しいイベントになりました



魚釣りゲーム



ストライクダーツ



スーパーボールすくい



イベントに協力いただいた  
関係団体・学生ボランティアのみなさん

9月29日(日)  
 会場  
 サン・ビレッジしばた



## 青少年健全育成「市民一斉パトロール」のお知らせ

明日を担う青少年の健全育成のために、大勢の皆さまのご協力をお願いします。

- ・と き 11月3日(日・祝) 午前9時30分～正午
- ・出 発 式 午前9時30分～10時 新発田駅前公園 (雨天決行)
- ・パトロール等 午前10時30分～正午 中学校区ごと  
(パトロール等は、中学校区ごとの活動になります)

※詳しくは、新発田青少年健全育成市民会議事務局またはお住まいの地区育成協議会へ

### あとがき

今年の夏は異常気象の連続でしたが、市民の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。幸い当市において大きな被害もなく、子ども達も皆元気で通学している様子を見て、一安心しております。

最近では携帯電話より、便利なスマートフォンなる物が流行しているようですが、一歩間違えば高額の使用料を請求された方も多いと聞きます。学校でも良く注意されていると思いますが、便利な物ほど注意して使用されたら良いと思うのですが、知らず知らずの内に悪い方へと繋がるようです。親御さんもよく注意されたら良いと思います。

(編集委員 猿子 洋司)

発行 新発田青少年健全育成市民会議  
 事務局 新発田市青少年健全育成センター  
 住所 新発田市緑町二丁目六番三十六号  
 電話 (〇二五四) 二六〇八九七

### 編集委員

- 佐藤 靖雄 富樫 政晴
- 猿子 洋司 渡辺 富子
- 金田 緑 荒川真里子